

# 往復5キロを爽やかに歩く

## 50人参加、風景楽しみながら

第1回奄美ノルディック・ウォークin宮古崎(南海日日新聞社、NPO法人TAMASU共催)が13日、大和村であった。奄美大島から約50人が参加。眼下に広がる大海岸や岬一帯に群生するササの草原など自然豊かな風景を楽しみながら国立公園に指定された宮古崎までの往復5キロを歩き爽やかな汗を流した。



ノルディック・ウォークは北欧フィンランド発祥。2本のポールを使うことで腕や肩などの上半身も積極的に活用することになり全身運動が可能になる。膝や腰の負担も軽減されるため、手軽に取り入れられるスポーツとして愛好者が増加している。

村山三千夫南海日日新聞社社長は「焦らず無理せずレクリエーションのつもりで楽しく歩いていただけたら」とあいさつ。基本動作の指導後、国直公民館を出発した。参加者たちは、TAMASUポールを使って歩を進める参加者。13日、大和村の宮古崎

代表の中村修さんのガイドに耳を傾けたり、同行者との会話を楽しんだりして思い思いのペースで目的地を目指した。

ノルディック・ウォーク初挑戦という奄美市の押川隆次さん(69)、節子さん(68)夫妻は「適度な四肢の運動になった。余裕ができればきれいな景色も見える。第1回に参加できてよかった。また機会があれば参加したい」と話した。

昼食は国直集落の住民が鶏飯を振る舞ったほか、午後からはガイド付きの集落フラ歩きツアーや貝殻のオリジナルフォトフレーム作りもあった。

女子40歳以上50歳未満背泳ぎを大会新で優勝した大島の西小野=13日、鹿児島市の鴨池公園プール



6制背て秒ぎ勢水の圭直

# 巨人、ソフトが頂上決戦へ

## 日本シリーズ進出決定



5回巨人無死、岡本が中越えに同点ソロを放つ。捕手梅野―東京ドーム

リーグともに第4戦が行われ、セは5年ぶりにリーグ優勝した巨人がレギュラーシーズン3位から勝ち上がった阪神を4-1で下してリーグ優勝による1勝のアドバンテージを加えて対戦成績を4敗とし、パは2位ソフトバンクがリーグ2連勝して4連勝を飾って日本シリーズ進出を決めた。巨人は6年ぶり35度目、ソフトバンクは3年

連続19度目(南海、ダイエー時代を含む)の出場。セは巨人が1-1の六回に丸のスクイズで一点を勝ち越すと七回にゲレートの2ランで加算した。

パはソフトバンクが三回に今宮の本塁打で一点を先制。その後も今宮が

六回と九回に2ランを放つなど着実に得点を重ねた。最優秀選手には今宮が選ばれた。

日本シリーズは19日にヤフオクドームで開幕。巨人とソフトバンクの顔

勝ち越した。七回にはゲレロが2ランを放つた。先発の高橋が六回途中失点と好投。2番手の大竹が好救援し、終盤の継投も決まった。

阪神は打線が2安打に抑え込まれ、得点は儀飛の1点のみ。力投の西を援護できなかった。

合わせは2000年以來11度目で、巨人は7年ぶり、ソフトバンクは3年連続の日本一を目指す。

と3-2とされた直後の六回に2ラン、九回にも2ランをマークした。先発したバンデンハークが4回3分の1を2失点で降板すると、その後は継投で反撃を抑えた。

西武は中盤にメヒアと山川の本塁打などで追い上げたが、投手陣が踏ん張れなかった。

CSファイナルステージ  
◆西武-ソフトバンク4回戦(ソフトバンク4勝、14時00分、メットライフドーム、29146人)

ソフトバンク	0	0	1	2	0	2	0	2	9
西武	0	0	0	1	1	1	0	0	3

(勝)高橋純3試合1勝  
(敗)本田1試合1敗

▽本塁打 今宮1号①(本田)、今宮2号②(松本航)、今宮3号②(増田)、グラシアル3号①(本田)、メヒア1号①(バンデンハーク)、山川1号①(石川)

◆巨人-阪神4回戦(巨人3勝1敗、15時30分、東京ドーム、45931人)

阪神	0	1	0	0	0	0	0	0	1
巨人	0	0	0	0	1	1	2	0	4

(勝)大竹3試合1勝  
(S)デラロサ3試合1S  
(敗)西1試合1敗

▽本塁打 岡本3号①(西)、ゲレーロ2号②(岩崎)

CSファイナルステージ  
◆西武-ソフトバンク4回戦(ソフトバンク4勝、14時00分、メットライフドーム、29146人)

ソフトバンク	0	0	1	2	0	2	0	2	9
西武	0	0	0	1	1	1	0	0	3

(勝)高橋純3試合1勝  
(敗)本田1試合1敗

▽本塁打 今宮1号①(本田)、今宮2号②(松本航)、今宮3号②(増田)、グラシアル3号①(本田)、メヒア1号①(バンデンハーク)、山川1号①(石川)

◆巨人-阪神4回戦(巨人3勝1敗、15時30分、東京ドーム、45931人)

阪神	0	1	0	0	0	0	0	0	1
巨人	0	0	0	0	1	1	2	0	4

(勝)大竹3試合1勝  
(S)デラロサ3試合1S  
(敗)西1試合1敗

▽本塁打 岡本3号①(西)、ゲレーロ2号②(岩崎)

連続19度目(南海、ダイエー時代を含む)の出場。セは巨人が1-1の六回に丸のスクイズで一点を勝ち越すと七回にゲレートの2ランで加算した。

パはソフトバンクが三回に今宮の本塁打で一点を先制。その後も今宮が

六回と九回に2ランを放つなど着実に得点を重ねた。最優秀選手には今宮が選ばれた。

日本シリーズは19日にヤフオクドームで開幕。巨人とソフトバンクの顔

合わせは2000年以來11度目で、巨人は7年ぶり、ソフトバンクは3年連続の日本一を目指す。

と3-2とされた直後の六回に2ラン、九回にも2ランをマークした。先発したバンデンハークが4回3分の1を2失点で降板すると、その後は継投で反撃を抑えた。

西武は中盤にメヒアと山川の本塁打などで追い上げたが、投手陣が踏ん張れなかった。

合わせは2000年以來11度目で、巨人は7年ぶり、ソフトバンクは3年連続の日本一を目指す。

と3-2とされた直後の六回に2ラン、九回にも2ランをマークした。先発したバンデンハークが4回3分の1を2失点で降板すると、その後は継投で反撃を抑えた。

西武は中盤にメヒアと山川の本塁打などで追い上げたが、投手陣が踏ん張れなかった。

合わせは2000年以來11度目で、巨人は7年ぶり、ソフトバンクは3年連続の日本一を目指す。

と3-2とされた直後の六回に2ラン、九回にも2ランをマークした。先発したバンデンハークが4回3分の1を2失点で降板すると、その後は継投で反撃を抑えた。

西武は中盤にメヒアと山川の本塁打などで追い上げたが、投手陣が踏ん張れなかった。

合わせは2000年以來11度目で、巨人は7年ぶり、ソフトバンクは3年連続の日本一を目指す。

と3-2とされた直後の六回に2ラン、九回にも2ランをマークした。先発したバンデンハークが4回3分の1を2失点で降板すると、その後は継投で反撃を抑えた。

西武は中盤にメヒアと山川の本塁打などで追い上げたが、投手陣が踏ん張れなかった。

テニスの第29回尾辻杯(大島地区・奄美市テニス協会主催)は13日、奄美市の名瀬運動公園庭球場であった。男女ダブルスA、B級に20ペアが出場。A級の男子は小久保悠治・赤崎一輝(らみいか)、女子は東かすみ・工藤詩織(フリー・上方)が優勝。B級の男子は木野田茂・平田隆之(笠利)女子は山田たまき・大久保亜砂美(上方・YF)が制した。

【男子】(A級)▽準決勝 小久保・赤崎(らみいか) 8-4 田中・小

第1回奄美市等町招魂祭相撲大会(笠利地区体育協会主催)は13日、同町の太陽が丘総合運動公園相撲場であった。小学、中学一般の団体A、B級に29チーム、未就学児一般の個人戦に約300人が出場して熱戦を繰り広げた。団体は一般のA級で笠利が8連覇し、B級も3年ぶりの優勝を飾った。中学生は笠利、小学生は赤木名Aがそれぞれ制した。

【団体】▽小学生 ①赤木名A ②節田 ③赤木名B、笠利 ④中学生 ⑤笠利 ⑥節田 ⑦赤木名B、緑が丘 ⑧一般A級 ⑨笠利 ⑩赤木名 ⑪屋仁 ⑫同B級 ⑬笠利B ⑭赤木名B ⑮笠利C、節田B

【個人】▽未就学児(6歳未満) ①手島健翔(笠利) ②中山豪(屋仁) ③野口晴道(節田) ④同(6歳) ⑤西類翔(節田) ⑥瀧田風理(赤木名) ⑦瀧田峻静(節田) ⑧小学1年 ⑨南晃輝(屋仁) ⑩小学1年 ⑪南晃輝(屋仁) ⑫内村瀧太郎(宇宿小) ⑬

【団体】▽小学生 ①赤木名A ②節田 ③赤木名B、笠利 ④中学生 ⑤笠利 ⑥節田 ⑦赤木名B、緑が丘 ⑧一般A級 ⑨笠利 ⑩赤木名 ⑪屋仁 ⑫同B級 ⑬笠利B ⑭赤木名B ⑮笠利C、節田B

【個人】▽未就学児(6歳未満) ①手島健翔(笠利) ②中山豪(屋仁) ③野口晴道(節田) ④同(6歳) ⑤西類翔(節田) ⑥瀧田風理(赤木名) ⑦瀧田峻静(節田) ⑧小学1年 ⑨南晃輝(屋仁) ⑩小学1年 ⑪南晃輝(屋仁) ⑫内村瀧太郎(宇宿小) ⑬

【男子】(A級)▽準決勝 小久保・赤崎(らみいか) 8-4 田中・小

テニスの第29回尾辻杯(大島地区・奄美市テニス協会主催)は13日、奄美市の名瀬運動公園庭球場であった。男女ダブルスA、B級に20ペアが出場。A級の男子は小久保悠治・赤崎一輝(らみいか)、女子は東かすみ・工藤詩織(フリー・上方)が優勝。B級の男子は木野田茂・平田隆之(笠利)女子は山田たまき・大久保亜砂美(上方・YF)が制した。

テニスの第29回尾辻杯(大島地区・奄美市テニス協会主催)は13日、奄美市の名瀬運動公園庭球場であった。男女ダブルスA、B級に20ペアが出場。A級の男子は小久保悠治・赤崎一輝(らみいか)、女子は東かすみ・工藤詩織(フリー・上方)が優勝。B級の男子は木野田茂・平田隆之(笠利)女子は山田たまき・大久保亜砂美(上方・YF)が制した。

【男子】(A級)▽準決勝 小久保・赤崎(らみいか) 8-4 田中・小

テニスの第29回尾辻杯(大島地区・奄美市テニス協会主催)は13日、奄美市の名瀬運動公園庭球場であった。男女ダブルスA、B級に20ペアが出場。A級の男子は小久保悠治・赤崎一輝(らみいか)、女子は東かすみ・工藤詩織(フリー・上方)が優勝。B級の男子は木野田茂・平田隆之(笠利)女子は山田たまき・大久保亜砂美(上方・YF)が制した。